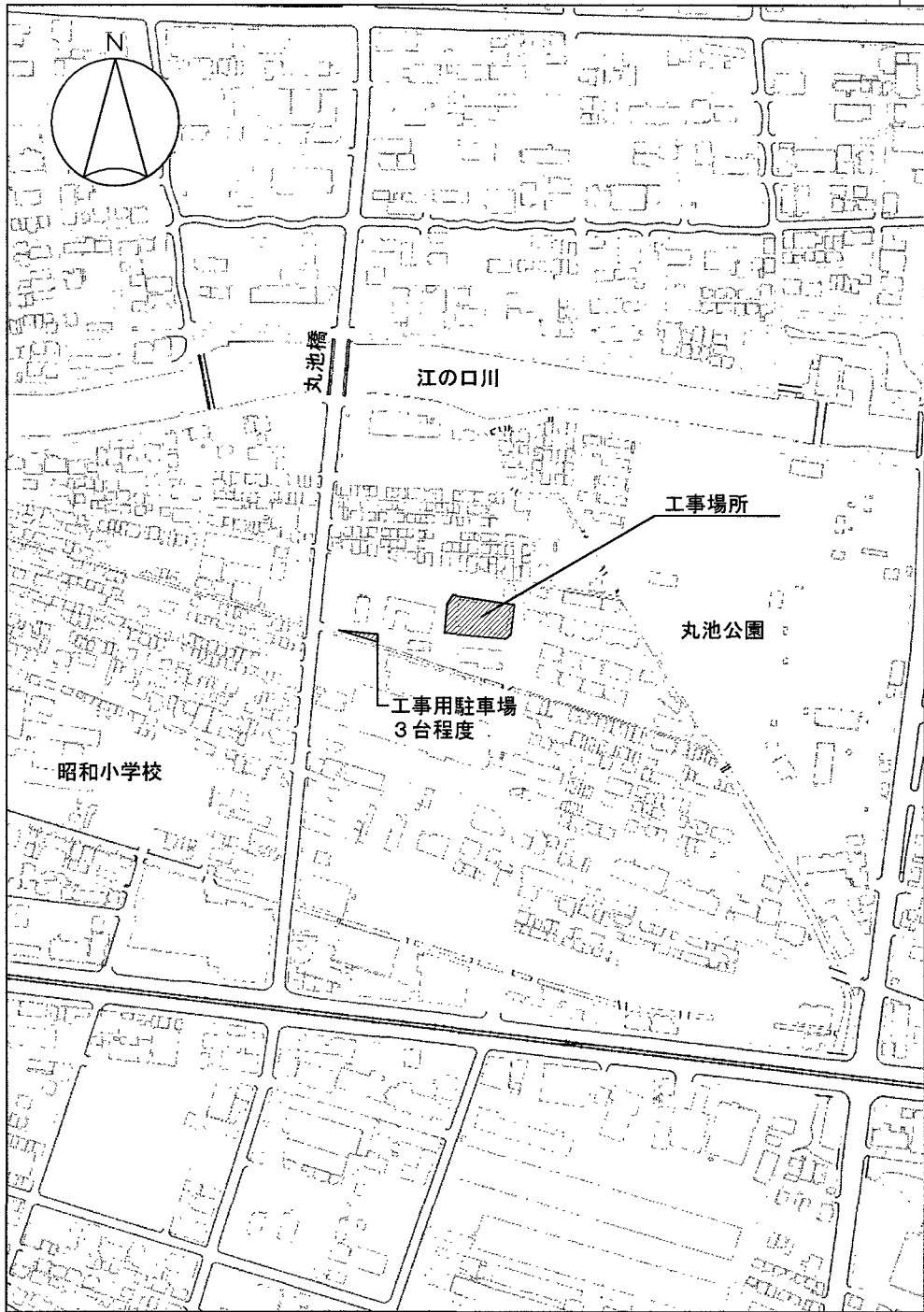


高知市勤労者交流館ブロック塀改修工事

図 面 リ ス ト									
意 匠 図									
A-01	改修特記仕様書(1)								
A-02	改修特記仕様書(2)								
A-03	工事概要・付近見取図・配置図(改修前)								
A-04	配置図(改修後)								
A-05	部分平面詳細図								
A-06	断面詳細図								
A-07	フェンス、基礎周リ詳細図								
A-08	仮設計画図								

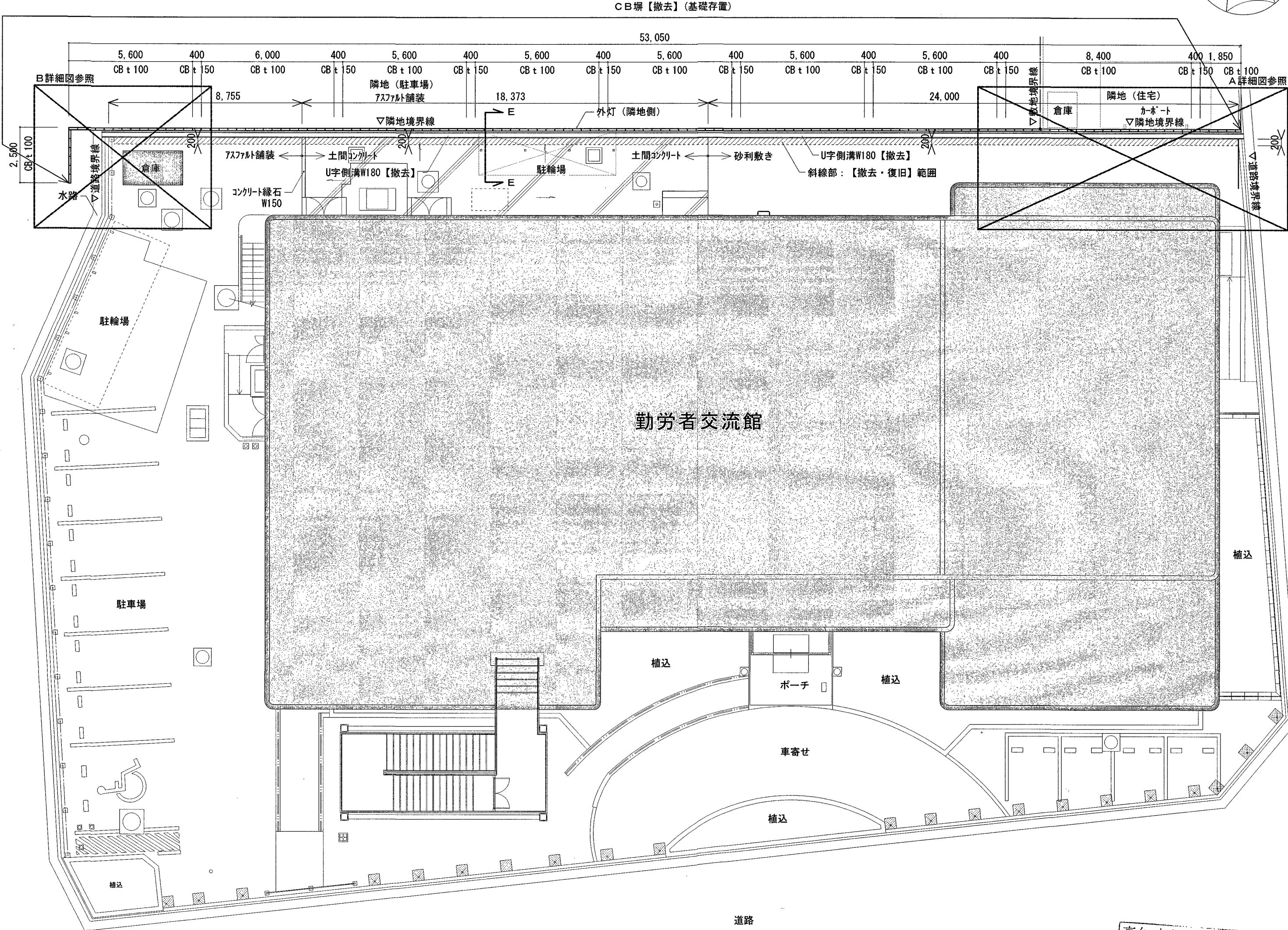
項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項	
仮設工事（改修）							
1	足場その他	内部足場 ※ きゃたつ、足場板等 外部足場 ※ 本足場 外部足場の養生 ※ 図示 材料、撤去材の運搬方法 ・ 屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。	[2.1.3][2.2.1][表2.2.1]	3	鉄筋の継手及び定着	継手 部 位 継 手 方 法 呼び名 柱・梁の主筋 ※ ガス圧接継手 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 耐力壁の鉄筋 ※ 重ね継手 その他 ※ 重ね継手 D10 継手の位置 ※ 図示 ○ 配筋標準図による (5.3.4) (表5.3.2～表5.3.3) 先組み工法等で柱、梁の主筋の隣り合う継手を同一箇所に入れる場合 ※ 図示 重ね継手の長さ ※ 図示 ○ 5.3.4(3)による (表5.3.2) (5.3.4(3)) 鉄筋の定着の長さ ※ 表5.3.4による (表5.3.4) (5.3.4(5)) 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所、種類 ※ 図示 ※ 表5.3.6による (表5.3.6) (5.3.5) ※ かぶり厚さは目地底から算定する。 ・ 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは下表による。 (5.3.5) 施 工 箇 所 等 表5.3.6の値に加える数値(mm) 柱、梁、壁及び底等の外気に接する打増し面 ※ 10 ・ 軽量コンクリートで土に接する部分の最小かぶり厚さ (5.3.5) 表5.3.6の値に加える数値(mm) () ・ 機械式継手及び溶接継手の場合の鉄筋相互のあき ※ 図示 (5.3.5) ※ 図示 (5.3.7)	防水改修工事 1 シーリング シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4～3.7.7][表3.1.2] ○ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 ボンドブレーカー張り ・ 適用する [3.7.7] エッジング材張り ・ 適用する シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※ 下表による(下表以外は表3.7.1による) 種類(記号) 主成分による区分 施 工 箇 所 ・ SR-1 シリコン系 ・ SR-2 ・ MS-2 変成シリコン系 ○ PS-2 ポリサルファイド系 フェンス基礎誘発目地 ・ PU-2 ポリウレタン系 ・ 仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1] シーリング材の目地寸法 [3.7.3] 箇所 打継ぎ/ひび割れ誘発目地 ガラス回りの目地 左記以外の目地 幅(mm) ※ 20以上 ・ ※ 幅及び深さ5以上[5.13 深さ(mm) ※ 10以上 ・ .3]による場合を除く) ※ 10以上 ・ 接着性試験 [3.7.8] ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験
2	養生	○ 既存部分の養生 ※ ビニルシート、合板等 ・ 既存家具、既存設備等の養生 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示 ・ 固定された備品等の移動 ※ 図示 ・ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	[2.3.1]	4	鉄筋のかぶり厚さ		
3	仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※ 図示 間仕切り種別 ・ A種 ・ B種 ※ C種 A種、B種の場合 仕上げる材種 ※ せっこうボード 厚さ9.5mm ・ 合板(普通合板) 厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・ 行う ※ 行わない 仮設扉設置箇所 ※ 図示 仮設扉種別 ・ 合板張り木製扉程度 ・ 図示	[2.3.2][表2.3.1]	5	各部の配筋	※ 図示	
4	監督職員事務所	・ 設ける (m程度) ※ 設けない		コンクリート工事			
5	監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] 備品の種類 机・椅子 書 棚 黒 板 P C 掛 時 計 数 量 組 台 枚 台 個 備品の種類 温 度 計 ゴ ム 長 靴 雨 が っ ぱ 保 護 帽 懐 中 電 灯 数 量 個 足 個 備品の種類 衣類ロッカー 冷暖房機器 消 火 器 湯 沸 器 加入電話付属器 数 量 人用 台 個 台 台 備品の種類 掃 除 具 数 量 個		1	コンクリートの種類・強度・スランブ	※ 普通コンクリート (6.2.1～6.2.2) (6.2.4) (表6.2.2) 設計基準強度 Fc (N/mm2) スランブ (cm) 適 用 箇 所 ※ 21 ・ 15 ○ 18 フェンス基礎、土間 ・ 18 ・ 15 ・ 18 ・ ・ 軽量コンクリート 設計基準強度 Fc (N/mm2) スランブ (cm) 適 用 箇 所 ※ 21 ・ 15 ・ 18 ・ 18 ・ 15 ・ 18 ・ コンクリートの種類 ※ I 類 ・ II類 (6.2.1) (表6.2.1) ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.1) (6.13.2) ・ 高炉セメントB種 (適用箇所：) ・ フライアッシュセメントB種(適用箇所：) ・ アルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B (6.3.1) ○ 混和剤 ※ A E 剤又はA E 減水剤標準形 (JIS A 6204) ・ 高性能A E 減水剤標準形 (JIS A 6204) ・ ・ 混和材 ・ フライアッシュ (・ I 種 ・ II種 ・ IV 種) (JIS A 6201) ・ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) ・ コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207) ・ コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)	
6	工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ○ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない 構内既存の施設(電力) ○ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)～c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)～c)に下記d)～e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。		2	セメントの種類		
7	仮囲い	※ 図示		3	骨材		
8	仮設物撤去後の整地・跡片付け	※ 原形の復旧 ・ 良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ()	[2.5.1]	4	混和材料		
土工事				5	構造体強度補正値 (S)	※ 表6.3.2による	(6.3.2)
1	埋戻し及び盛土	種別 ・ A 種(水締めのごき砂質土) ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種	(3.2.3) (表3.2.1)	6	打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地	打継ぎ目地の寸法 ※ 9.7.3(1) (7)による (6.6.4) (9.7.3) ひび割れ誘発目地の位置 ※ 図示 (6.8.1) ひび割れ誘発目地の形状及び寸法※ 9.7.3(1) (7)による (6.8.1) (9.7.3)	
2	建設発生土の処理	※ 構外搬出適切処理(搬出前に建設発生土の受入証明又は法令による許可書等を提出する) (3.2.5) ・ 構外指示の場所に処分(搬出調書等を提出する) ・ 受入れ施設名： ・ 受入れ場所： ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積 500m3以上を構外搬出適切処理する場合は確認結果表を作成し、再生資源利用計画の添付資料とする。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/kensetuhassaido-hannsyutusaki.html)		7	打増し厚さ	外部に面するコンクリートの打増し厚さ(mm) 外壁 ※ 図示 ・ 20 ・ 25 ・ 軒天 ※ 図示 ・ 10 ・ 15 ・ 20 その他 ※ 図示 ・ 20	(6.8.1)
3	山留め	山留め工法 ・ 山留めの撤去 ※ 撤去する ・ 存置する	(3.3.3)	8	構造体コンクリートの仕上り	コンクリートの打放し仕上げ ※ 合板せき板を用いる場合 (6.2.5) (6.8.2) (表6.2.4) 種 別 厚 さ (mm) 施 工 箇 所 ○ A 種 ※ 12 ・ フェンス基礎 ・ B 種 ※ 12 ・ ・ C 種 ※ 12 ・ ・ せき板の材料として合板を用いない場合 材料 () 厚さ () 適用部位 ※ 下表 ・ 図示 (6.2.5) (表6.2.5) (15.4.2) 種別 コンクリートの内外装仕上げ 平たんさ 適用部位による仕上げの目安 柱・梁・壁 床 a 種 コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合 化粧打放しコンクリート 化粧仕上げ 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り 合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フリークセスフロア（置敷式） b 種 仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合 仕上塗材塗り 外装タイルセメントモタル張り カーベツ張り 防水下地 セクレベリング材塗り c 種 仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合 セメントモタル材による陶磁器質タイル張り タイル張り モタル塗り モタル床 二重床	
鉄筋工事				9	コンクリートの仕上りの平たんさ		
1	鉄筋の種類	(5.2.1) (表5.2.1) 種 類 の 記 号 呼 び 名 使 用 箇 所 ○ SD295 D10 土間 ・ SD345 ・ SD390 ・ SD490 ・ SR235 ・ SR295					
2	溶接金網等	規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ・ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 () 鉄線の径(mm) ()					
三 建 設 計 有 限 会 社		登録					

工事概要
既存CB塀の撤去、メッシュフェンスの新設（基礎含む）



付近見取図：高知県高知市丸池町1番1-14号

備考	※【 】記載なき部分は、既存のままとする
	※A2→A3（71%縮小）



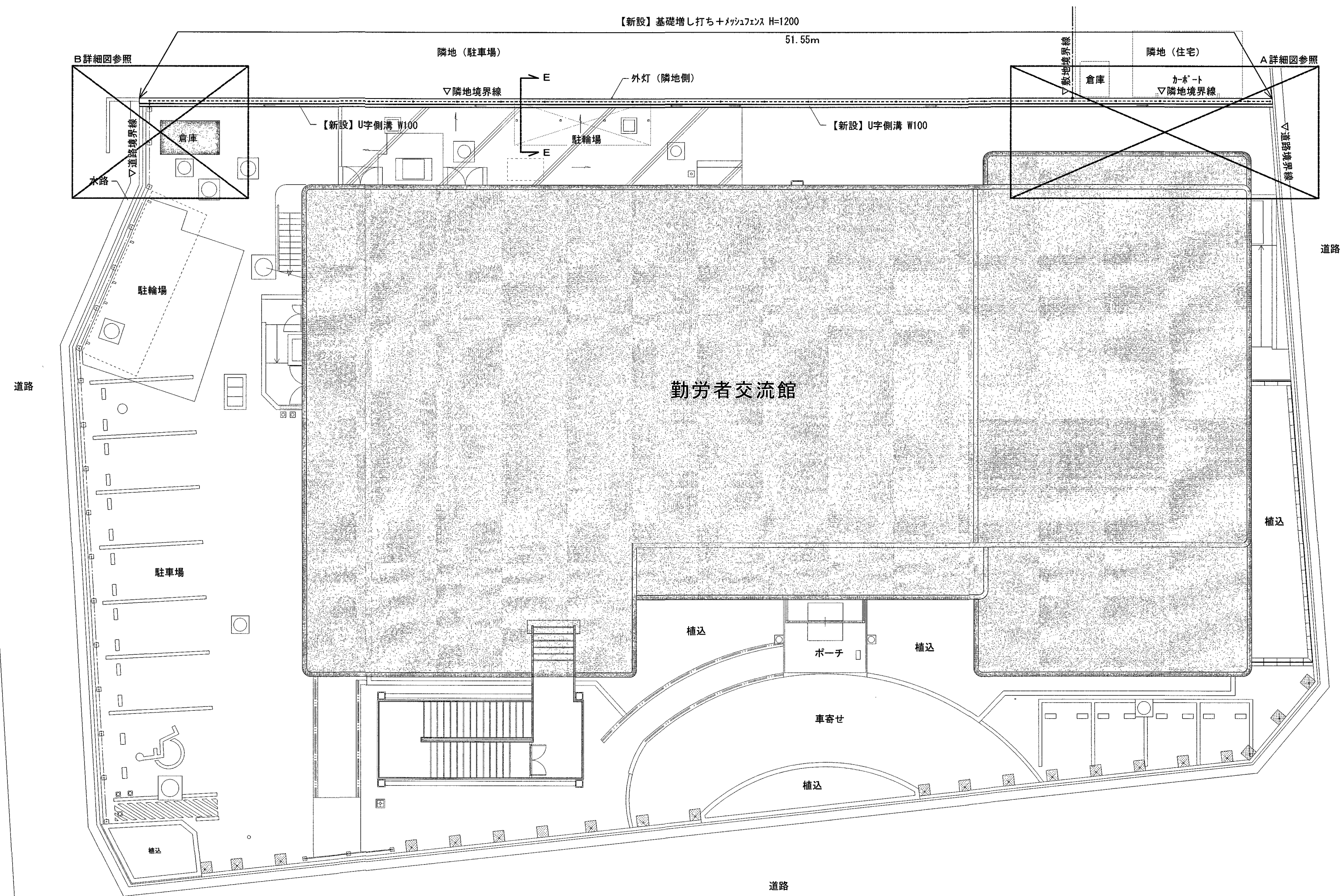
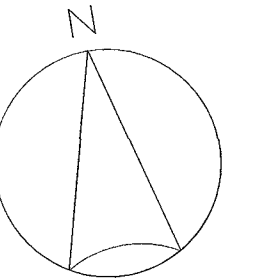
高知市都市建設部公共建築課	係長	課長補佐	課長
和田	田中	濱口	松本

配置図（改修前） S=1/150

高知市勤労者交流館ブロック塀改修工事	設計図	三建設計有限会社	登録高-6号	図面名称	工事概要、付近見取図、配置図（改修前）		
高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺	S=1:150	NO.	A 03	
一級建築士第135971	安並和文		13年10月06日	担当	製図		

【共通事項】

- ・新設フェンスの詳細な支柱間隔はメーカー仕様による
- ・新設フェンス基礎の天端は、敷地内側に勾配を10mmとること
- ・新設フェンス基礎は、10m以下ごとに伸縮目地を設け、中間には誘発目地を設ける
- ・伸縮目地材は瀝青繊維質板t=20とし、誘発目地は20×20mm目地切し、シーリング打ち(PS-2)20×10とする

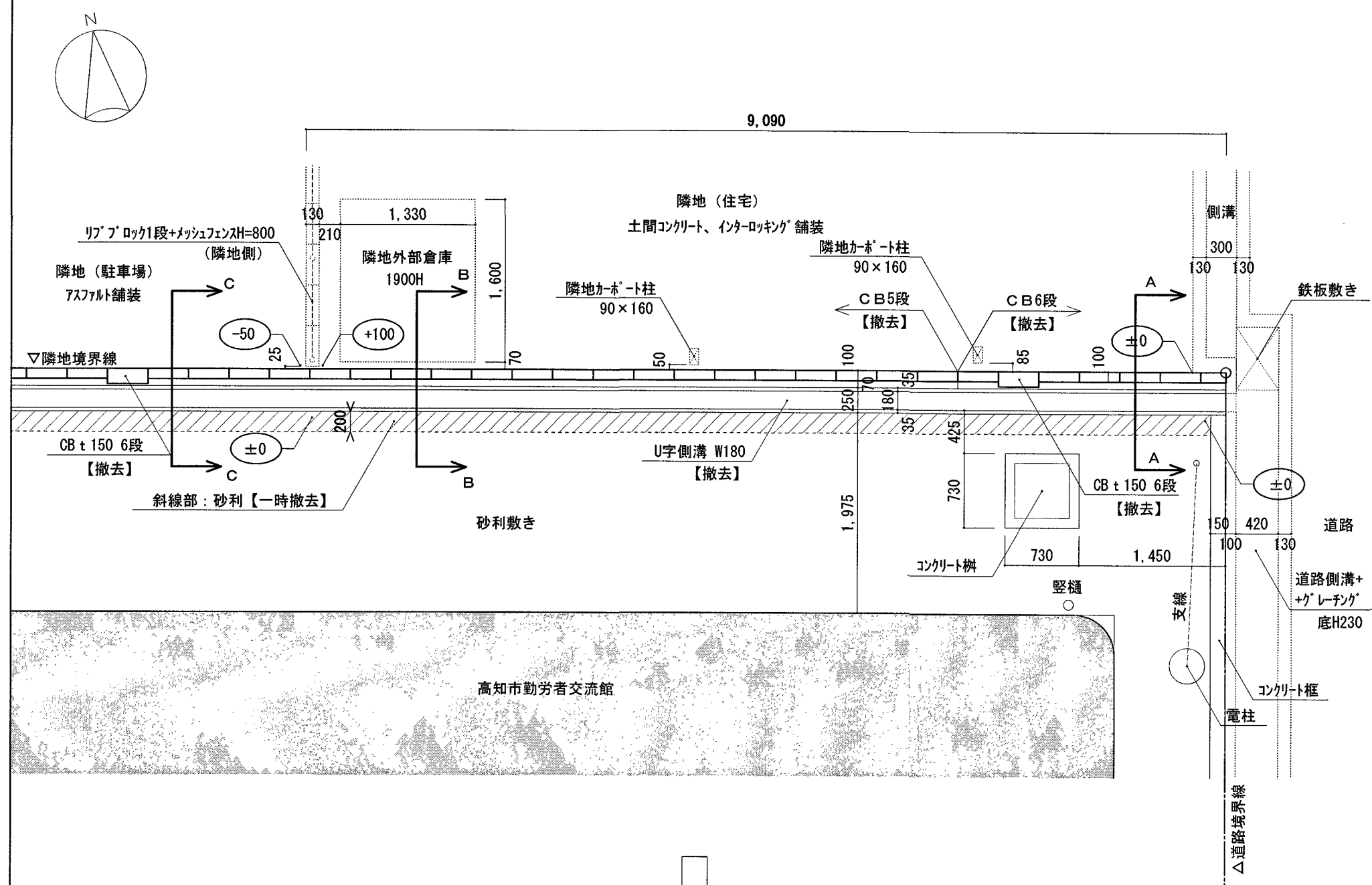


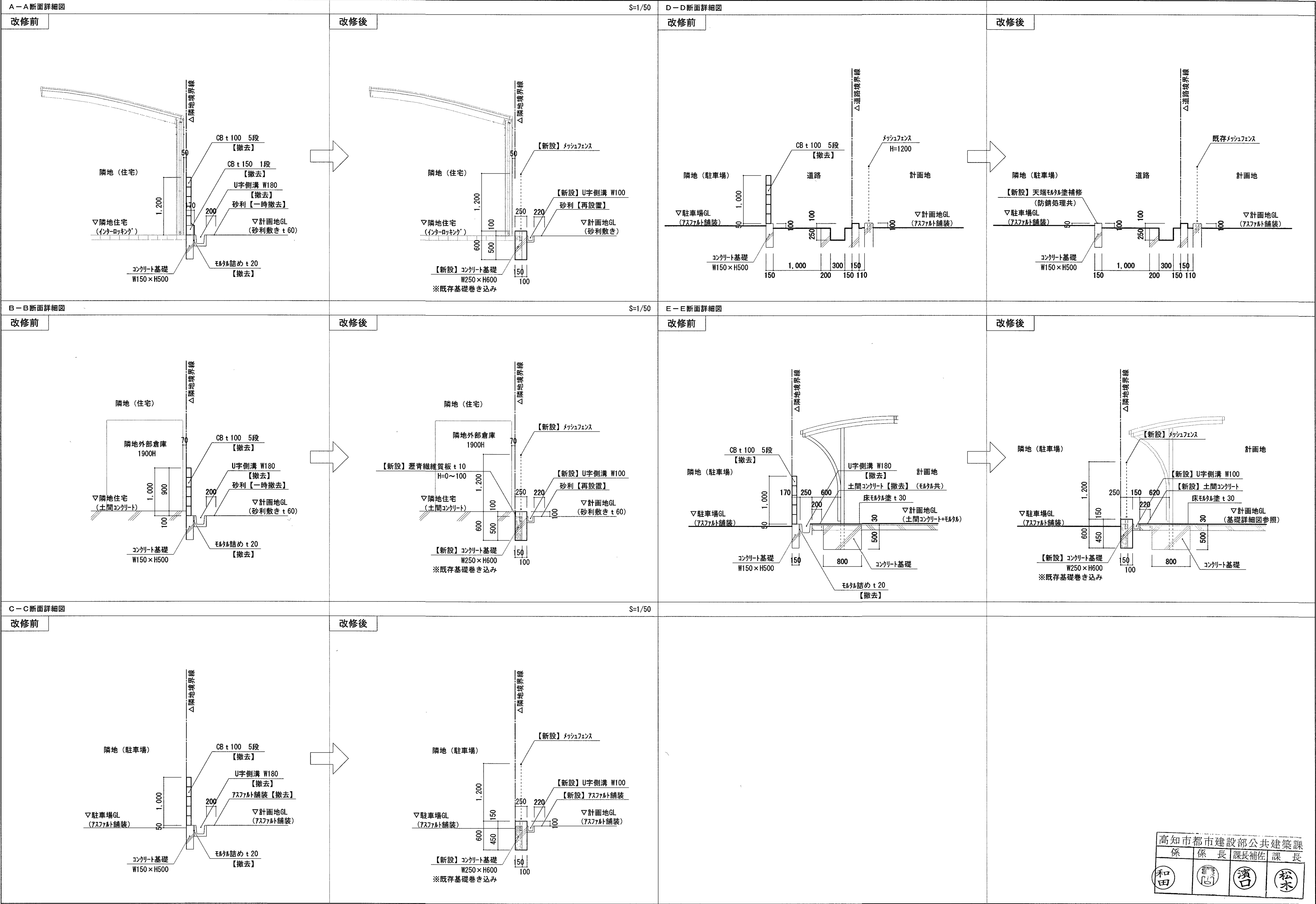
配置図(改修後) S=1/150

高知市都市建設部公共建築課			
係長	課長補佐	課長	
和田	山田	濱口	松本

備考 ※【 】記載なき部分は、既存のままとする ※A2→A3 (71%縮小)	高知市勤労者交流館ブロック塀改修工事	設計図	三 建 設 計 有 限 会 社			登録高-6号		図面名称 配置図 (改修後)			NO. A — 04
			高 知 市 知 寄 町 1 - 5 - 1		TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:150				
			一 級 建 築 士 第 1 3 5 9 7 1		安 並 和 文		'13年10月06日 担当	製図			

改修前





Technical drawing of a rectangular structure, likely a foundation or retaining wall, showing dimensions and construction details.

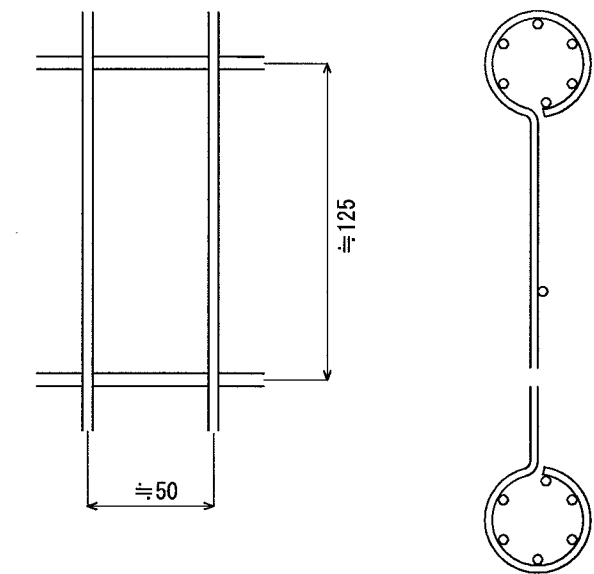
Dimensions:

- Horizontal dimensions: 2000 (left section) and 2000 (right section).
- Vertical dimensions: 1170 (main height) and 1200 (total height including base).
- Base dimensions: 30 (width of base layer) and 200 (width of base layer).

Labels:

- ワイヤメッシュ (Wire Mesh) - Located in the center of the structure.
- ▽GL+0m (Ground Level) - Indicated at the bottom right corner.
- 埋込 (Burying/Embedding) - Indicated at the bottom right corner.

※フェンス部材寸法は、メーカー仕様による。

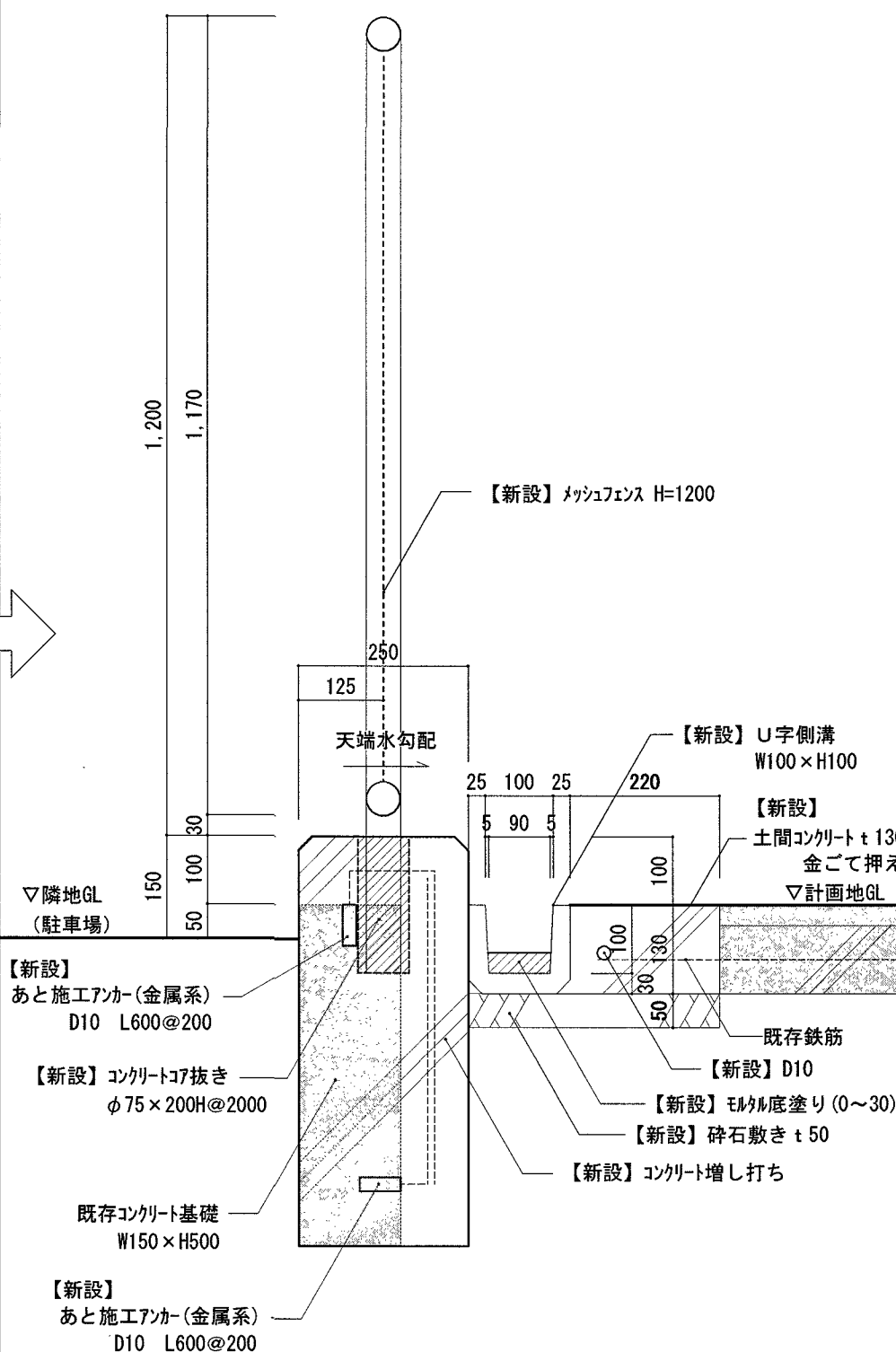


パネル断面図

部分詳細図 S=1/3

S=1/10

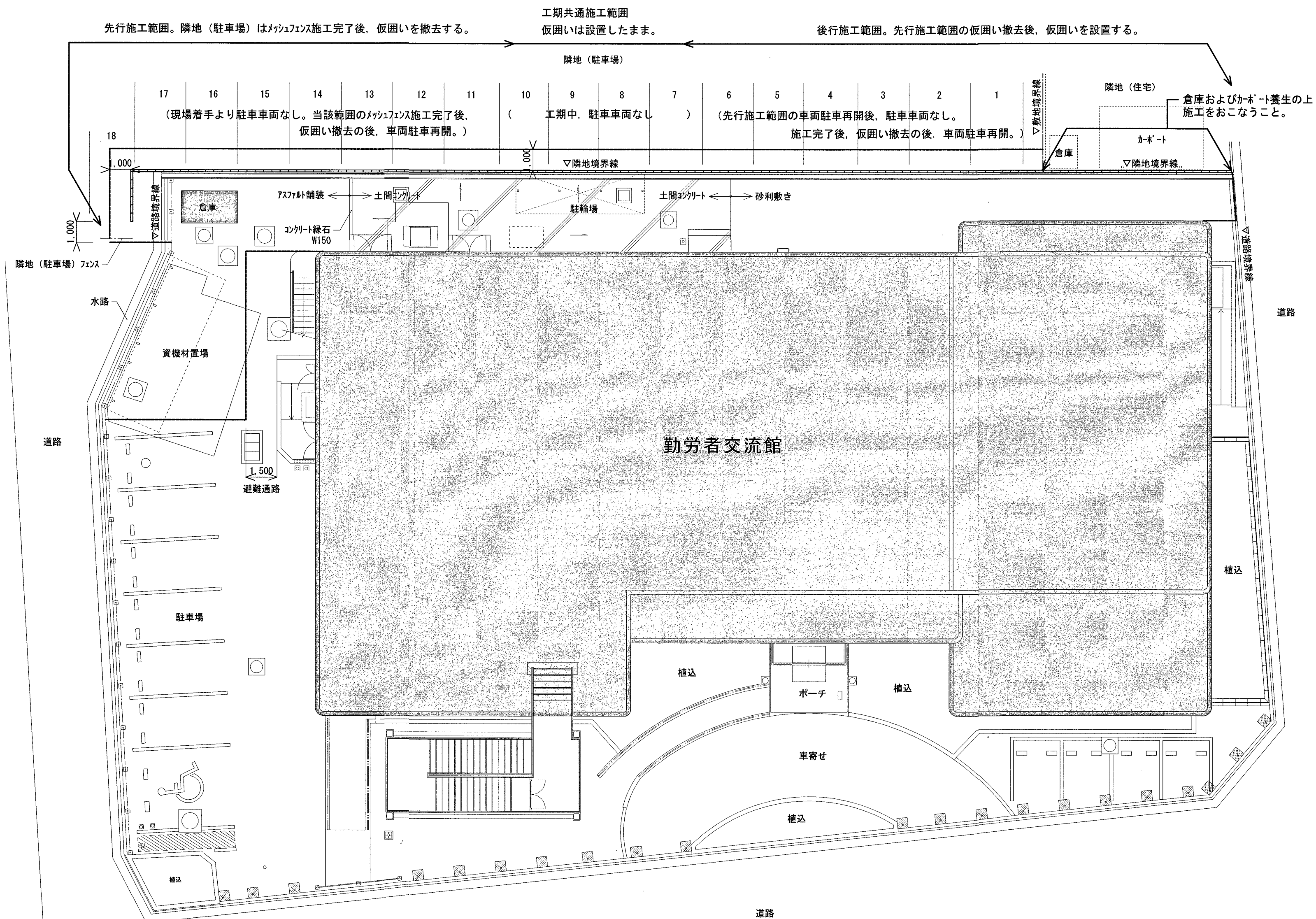
改修後	※アスファルト舗装、砂利敷きも同範囲復旧
	※【新設】アスファルト舗装 (A-3-10)
	※【新設】コンクリート Fc21-18-20
	※【新設】鉄筋 SD295



設計図

図面名称	フェンス、基礎周り詳細図
------	--------------

縮尺	S=1:3、1:10、1:20		NO. A — 07
13年10月06日	担当	製図	



仮設計画図 S=1/150

—— : ガードフェンス H=1800程度 示す
※工事用駐車場は敷地外とし、付近見取図に示す

施工条件

- ※施工範囲は、先行部と後行部に分けて施工を行う。隣地（駐車場）へ設置の仮設は盛替えを行い。工事範囲を区画すること。
- ※隣地（駐車場）は駐車車両を移動させながらの施工となるため、車両移動の期間を含めた工期とする。
- ※施設利用しながらの工事となるため、作業時間・内容・大きな騒音又は 振動を伴う作業については、施設管理者と協議うえ、作業時間を指定する場合がある。
- ※資機材の搬入出については、施設及び監督職員と事前に協議する事。
- ※防塵対策には十分に配慮する事。

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
和	田	濱	口

備考	高知市勤労者交流館ブロック塀改修工事		設計図	三 建 設 計 有 限 会 社		登録高-6号	図面名称 仮設計画図	
				高 知 市 知 寄 町 1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:150	No. A — 08
				一級建築士第135971	安 並 和 文		R7年 8月 日 相当 製図	